

日時：令和6年11月5日（火）16：00～18：00

場所：現地（雲南保健所集団指導室）&WEB（ハイブリット開催）

1 開会あいさつ（雲南保健所 柳樂所長）

本会は雲南圏域の主に「在宅医療」や「医療と介護の連携」が大きなテーマであり、昨年度作成した第8次島根県保健医療計画の在宅医療の部分の進行管理がこの会の主な役割の1つとなっている。本日の議題には評価のための指標（KPI）について示している。

評価をするため、進行管理をするためには数字が大切になってくるが、いろいろな施策や取り組みをやっていただく中でインプット、アウトプットをすることは大切なことだと思う。

本日は保健所から様々なデータをお示しし、各位機関の取り組み状況をお話するので、そこからこの圏域がこの先どのような状態であってほしいか、医療や介護がどのような姿でいるべきなのかというところを、難しいがこういった会議の場で考えていければよいと思うので、本日はどうぞよろしくお願いいたします。

2 報告 雲南圏域の医療介護の現状と今後について（事務局）

- ・資料1のとおり説明

→質疑等なし

3 議事 第8次島根県保健医療計画にかかる雲南圏域の在宅医療に関する重要業績評価指標(KPI)について（事務局）

- ・資料2-①、②のとおり説明

（質疑等）

（飯南町立飯南病院 角田院長）

資料2-②の第7次計画の歯科診療所・薬局の数と第8次計画案の項目の数字がこの6年間でかなり変わっているが、これはどういうことか。

→（事務局）第7次計画と第8次では数を把握するツールが異なっているため、数字に差異が出ている。第8次から県庁も分析ツールを変更したので、雲南圏域も県庁と同じツールを活用した。この数字で行こうと思う。

→議事については委員から承認を得た。

4 意見交換（各委員）

- ・資料3-①、②、③、④のとおり各委員より取り組み報告、その後、意見交換

（意見交換）

事務局→奥出雲町

Q：多職種連携ということで、奥出雲町は医師も参加した地域ケア多職種研修会を開催しておられる。また、事務局会を月一でやっておられるとあるが詳しく教えてほしい。

→町の事業を病院の在宅診療センターの方に一部委託しているが、全部お任せというわけではなく、行政と病院が一緒になって考えている。事務局会は月一回、スタッフレベルで担当者会を開催し、多職種会議の内容の検討などを行い、行政と病院の相談しやすい関係を作っているため、連携しやすくなっている。また、病院に事

業を委託したことで、多職種会議に病院医師、看護師、リハ職等の参加が増えた。診療所医師の参加が少ないが、病院医師の働きかけもあり、数か所の診療所医師にお出かけいただいている。

事務局→雲南地域介護サービス事業者団体連絡会

Q：定期的に施設と病院で連絡会を開催しているとあったが、工夫されていることなどがあるか。

→今年度診療・介護報酬の改定があり、雲南市立病院と施設との連携が必要になってきたので、お互いの敷居を下げようというところから始まった。お互いのわからないこと、病院にお願いしたいことなど、協議をする中で、病院側は介護側が抱えている課題が見えてこないことや、介護側は医療への敷居が高いといった様々な課題が出てくる。

現在は月1回開催しており、その中で少しずつ改善が図れ、退院時の連携や言いにくいとも言えるような関係に少しずつなっているので、今後も継続していきたい。

事務局→雲南地域介護支援専門員協会

Q：ケアマネ同士の横のつながり「まある会」について、もう少し詳しく教えてほしい。

→昨年度から始まり、まずは顔の見える関係づくりをしっかりとやっていこうということで昨年度から始まった。次は何でも相談できる関係づくりということを進めているところ。制度改正もある中で、それにまつわる研修会などを企画している。冬季は集まりにくいので、SNSのオープンチャットを活用して、研修会の案内や、何でも相談できる関係づくりを行っている。今後もこういったことを継続しながら地域全体がつながっていければと思う。

5 医療連携推進コーディネーターについて（医療連携推進コーディネーター）

・資料4のとおり説明

→質疑等なし

全体を通しての質疑等なし

5 閉会あいさつ（雲南保健所 柳樂所長）

本日は膨大なデータ等を用いての意見交換だったので、なかなか意見が出なかったと思う。この場だけでなく今後様々な場で共有していければと思うので、ご意見頂戴したい。特に今回、資料1の最後のページ、今後の医療介護については皆様に少し踏み込んでお話した。今後2030~40年に向けて、雲南圏域がこうあってほしいというところからスタートして、そのために必要なアクションについて、皆様とコンセンサスを作っていければと思う。最終的には住民が暮らしたい場所で穏やかに過ごしていただくため、我々が何をしていくべきか、というところを考えていくことだと思う。

本日の会議でそれぞれの立場で課題に対し、どういう風に行動していけばよいかということを実際に考えてくださり、実際行動に移しておられるところもあるということは本日皆様にもよくお分かりになったと思う。

人材不足の問題は深刻だが、皆様が同じ方向を向いて、この圏域の住民のために動いておられる様子が伺え、希望が持てる会議となった。

皆様の取り組みがより一層進められるよう、保健所もしっかりとサポートしていきたいと思うので、今後ともよろしく願います。